

添削 1-2 <添削寸評>

- 前半の数列は、よくある定型的処理。当然出来は良かったので、次の5点をチェックさせていただきました。
 - 最初に S_n と S_{n-1} で差をとる際に、 n の範囲に対する注意が行き届いているか？
 - 数列 b_n の「一般項」を求めにかかる前に、「漸化式」と「初項」を揃えて「帰納的定義」を完成させているか？
 - b_n の一般項を立式する際、 k の範囲を2から n までと正しく書いているか？
 - その際、 $n = 1$ のときを別扱いにしているか？←これを怠ると減点対象
 - \sum 計算において、「 $\sum_{k=2}^n$ 」を、ちゃんといったん「 $\sum_{k=1}^n$ 」に換えた式を書いているか？

どれも、当たり前のことですが、オールクリアーの人はほぼ皆無でした。

- 後半の数列も、今回は「分子の低次化」が自然に見える形なので、多くの人が正答を導き出していました。中には、「分子の低次化」という意識を持たないままなんとなく変形した人もいかもしれませんが、レベルが上がるとそれでは通用しなくなりますのでご注意ください。
- ただし、記述の不備、不足がとても多かったです。まあ、内容がショボいので仕方ない面もあるのですが、

「整数の基本」 = 「大きさ」, 「余り・約数 …」

が身に付いている人なら、そうした基本に根差した記述が出来る … というより、それを書かないとキモチワルサを感じるはずなのです。感じなかった人は、まだ「基本」が身に付いていないことの証だと受け止めるべし。本問“程度”なら解けるかもしれませんが、レベルが上がるとそうした基本の欠如による影響が顕在化します。